

三菱HCキャピタルとPXPが資本業務提携契約を締結 フレキシブル太陽電池を活用した脱炭素ソリューションの開発を推進

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:久井 大樹/以下、当社)は、このたび、フレキシブル太陽電池の開発を手掛ける株式会社 PXP(代表取締役:栗谷川 悟/以下、PXP)と資本業務提携契約(以下、本提携)を締結しました。

今後、本提携にもとづき、PXP が提供するフレキシブル太陽電池を活用した新たなビジネスモデルを構築していきます。

1. 本提携の背景について

近年、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーへの注目が高まっています。一方で、平地面積の少ない日本では、従来型の太陽光発電設備の設置に適した場所が限られることや、建物の屋根への設置についても耐荷重の問題で設備が設置できないなど、普及にあたっては多くの課題があります。このようななか、従来の太陽電池よりも薄い・軽い・曲がるといった特徴を持ち、設置場所の対象範囲を広げることができるフレキシブル太陽電池への注目が高まっています。

2. PXPについて

本提携先である PXP は、変換効率や耐候性に優れる、独自のフレキシブル太陽電池の開発を行っています。また、異なる素材の太陽電池を複数層に積み重ねることで、より効率的に太陽光を吸収し、高い変換効率を生み出す技術の開発も進めており、近年、フレキシブル太陽電池のなかでも注目を集めているペロブスカイト太陽電池*1と組み合わせたタンデム型の太陽電池の開発も進めています。

PXP が提供する太陽電池は、従来のシリコン系太陽電池よりも柔軟性や軽量性に優れており、今後もさまざまな分野での活用が期待されています。

3. 本提携の内容について

本提携にもとづき、当社は、顧客へのフレキシブル太陽電池の提案を通じて、脱炭素に関するニーズの収集および従来型の太陽電池では設置が難しかった場所への導入を推進し、企業のカーボンニュートラル化に貢献します。また、設置・管理・運営方法を検証し、フレキシブル太陽電池の普及に向けて新しいビジネスモデルを構築します。

なお、本提携は、当社が、スタートアップ企業とのオープンイノベーションを通じた新サービスの創出、新事業の開発促進を目的に運用する、「イノベーション投資ファンド*2」を活用したものです。

*1 ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を持つ化合物を発電層に用いた太陽電池。主原料のヨウ素の生産量は日本が世界第二位。

*2 2023年6月8日付ニュースリリース「総額100億円のイノベーション投資ファンドを創設」
<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/investors/library/pressrelease/pdf/2023060801.pdf>

■ PXP概要

社 名	株式会社 PXP
代 表 者	代表取締役 栗谷川 悟
所 在 地	神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目 4 番 21 号
事 業 概 要	次世代光電変換素子の研究開発
資 本 金	15 億 4,601 万円(資本準備金含む)

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、“未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター”を「10 年後のありたい姿」に掲げ、その実現に向けて、祖業のリースはもとより、有形無形のアセットの潜在価値を最大限に活用したサービスや事業経営などに取り組んでいます。「カスタマーソリューション」「海外地域」「環境エネルギー」「航空」「ロジスティクス」「不動産」「モビリティ」の 7 つのセグメントのもと、連結総資産は約 11 兆円、連結従業員は約 8,400 人を擁し、世界 20 カ国以上で事業を展開しています(2024 年 3 月末時点)。

わたしたちは、絶えず変化する社会や事業環境の変化を先取りし、お客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以 上